



リアス海岸である香住海岸周辺は入り江や河口部以外は岩石や地層がむき出しになった雄大な岩石海岸が連続しています。これらの地層や岩石は日本海形成～現在までの地球の活動でできたものです。これを波などが悠久の時をかけて削り、現在の絶景を創り出しました。美しく澄んだ海にはたくさんの生き物が住んでおり、ハヤブサやミサゴなどの鳥たちも生息しています。香住海岸は1938年(昭和13年)に国の名勝に指定されました。



国の天然記念物である鎧の袖や、かえるが座っているように見えるかえる島など、不思議な形をした岩がたくさんあります。



ここには海からでないと見えない絶景がたくさんあります。面白い解説を聞きながら、のんびりカヌーで、特別な風景を満喫して見ませんか?



カヌーを利用される方へ

・リアス海岸は潮の流れが複雑です。技術に自信がない方や少しでも不安を感じる場合は出航を見合わせてください。
・港付近では漁船等の通行に十分注意してください。波があると漁船から見えにくくなります。旗を立てる等、発見しやすいようにしてください。

美しい自然を守るため、石や植物は観察するだけにしましょう。危険な場所や立ち入り禁止の場所には、入らないようにしてください。持って帰るのは楽しい思い出と写真、そして地元のおみやげ!

凡例

- 主な見どころ
- 駐車場
- トイレ
- 撮影スポット

1 白石島



白石島は、白い火山灰が固まってできた岩（凝灰岩）でできているので白い色をしています。この火山灰は日本海が拡大している頃の火山活動でたまったものです。島の周辺には小白岩（牛島）や足の裏など、波などに削られたりしてできた不思議な造形がたくさんあります。

2 五色洞門



遊覧船が入ることができるくらい大きな海食洞です。天井から差し込む光により海面が五色に輝くことから名付けられました。また、天井には金属鉱物が錆びたものと思われるエメラルドグリーンになった部分があります。探してみましょう。

3 かえる島



溶岩が冷え固まってできた岩が日本海の激しい波で削られ、かえるのような形になったことから「かえる島」と呼ばれています。祈願岩としても知られ、昔、北前船（廻船）で航海に出た男たちが無事にこの地に帰る（カエル）ことを祈願したと言われています。

4 黄金の松と鉱山跡



黄金色の葉が美しい松が岩上に1本だけ生えています。クロマツが変異して黄金色になったものと考えられ、春にはいっそう美しくなると言われています。ここにはかつて金や銀などを採掘していたとされている鉱山（沖ノ浦鉱山：1942年閉山）がありましたが、現在ははっきりした鉱山施設等は見当たりません。

5 但馬松島



下浜から三田浜にかけての海岸線には、溶岩が冷え固まってできた縦方向に伸びた割れ目（柱状節理）の美しい「弁天島」「松島」などが点在し、松で彩られた『但馬松島』の景観を作り出しています。遊覧船のほか、三田浜へ通じる道路から見るすることができます。

6 鎧の袖



高さ65m、幅約200m、角度70度の大きな岩壁で、日本海が形成された後、地下の地層中に入り込んだマグマが冷え固まる際にできた縦方向に伸びた割れ目が垂直に交わり、鎧の「おどし」のように見えたために、「鎧の袖」と言われています。

7 鷹の巣島



鎧の袖の岩石と同じ岩でできています。昔は繋がっていましたが波によって削られ、今のようになりました。角度によっては、アメリカ先住民の民族衣装をまとった横顔やサザエにも見えます。かつてここでタカが巣を作っていたのでこの名がついたと言われています。

8 百層崖



日本海ができ始めるころ、大陸の端が割れ、凹みに砂や泥などが交互にたまりました。この砂岩や泥岩などが層状に重なり合っている様子から、百層崖と名付けられました。また、断層による地層のずれも見ることができます。

9 めがね洞門（窓島）



波の侵食作用により、2つ穴（海食洞）ができ、メガネのようにになりました。穴の高さが違うのは、時期により海面の高さが違っていったからだと考えられます。海面の高さにある穴は現在できているものです。

10 釣鐘洞門

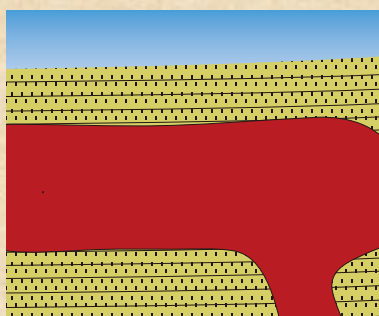


二つの海食洞が繋がってできた洞門です。延長は200m。その中心部は文字どおり釣鐘内部のような形をしており、内部空間は最高部32m、直径30m、広さ320㎡、水深10mと海食洞として世界的にも大きなものです。洞内にはイワツバメやコウモリが生息しています。

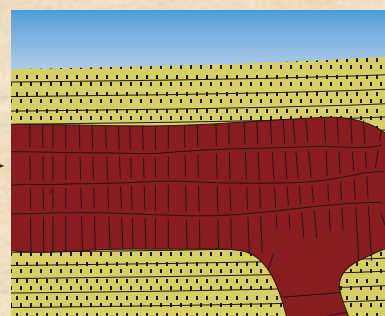
ジオコラム 1

よるいのそで 鎧の袖の模様はどうやってできた？

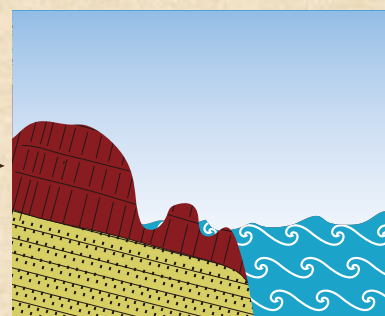
鎧の袖は昔の武士が身に付けた鎧の、おどし（腰の周りの防具）の部分のような見かけをしています。縦方向に伸びた割れ目はマグマが冷えるときにできた「柱状節理」です。横方向に見える筋は、マグマが流れた方向を示しています。この二つの模様によって、鎧の袖のように見えるのです。



① マグマが地層の中に入り込む



② 冷えて固まるときに模様ができる



③ 風雨や波に削られて岩が露出する

※イラストはイメージです

ジオコラム 2

海岸の地形と人々の暮らし

香住海岸は、海面の上昇などで低いところが海に沈み、山地がせまって入り組んだ海岸線をしています（リアス海岸）。海岸には切り立った崖が続き、家を建て易い平らな場所は入り江の奥や河口付近に限られます。



リアス海岸の入り江（鎧）



香住の地形

そのうち鎧や柴山など、両側に山がせまって風や波がさえぎられる深い入り江は天然の良港となりました。香住や佐津のように大きな川が流れ込む海岸部では、運ばれてきた土砂によってできた砂州や浜堤などの高まりに、大きな集落ができました。

クイズの答え

かえる島は次のうちどうやってできたのでしょうか。

答え：①
詳しくはガイドさんに聞いてみよう！

香美町香住観光協会
tel.0796-36-1234

香美町役場 観光商工課
tel.0796-36-3355

香美町立ジオパークと海の文化館
tel.0796-36-4671

〔制作〕 山陰海岸ジオパーク推進協議会
兵庫県立大学大学院
地域資源マネジメント研究科